

スズキ、インド・グジャラート工場の C 工場が稼働



グジャラート工場全景



稼働を開始したグジャラート C 工場

スズキ株式会社のインドにおける四輪生産子会社スズキ・モーター・グジャラート社 (SMG 社) の C 工場が完成し、2021 年 4 月より稼働を開始した。

スズキは、インド自動車市場の伸張及びインドからの輸出拡大に備えて生産能力を拡大するため、2014 年 3 月に SMG 社を設立。SMG 社は、2017 年 2 月より A 工場が、2019 年 1 月より B 工場とパワートレイン工場が稼働し、2020 年 10 月にはスズキの生産拠点としては最速で累計生産 100 万台を達成した。

今回、年間 25 万台の生産能力を持つ C 工場が稼働開始することにより、SMG 社における生産能力は A 工場、B 工場と合わせて合計 75 万台となり、マルチ・スズキ・インディア社 (以下、マルチ・スズキ社) の生産能力 150 万台と合わせたスズキのインドにおける生産能力は 225 万台となる。なお、SMG 社で生産される車両はすべてマルチ・スズキ社に供給される。

スズキは今後も拡大が見込まれるインド自動車市場の需要に応じていくとともに、インドからグローバル市場への輸出促進を一層図り、インド政府が推進する「Make in India」に貢献していく。

●スズキ・モーター・グジャラート社 概要

社名	スズキ・モーター・グジャラート社 (Suzuki Motor Gujarat Private Limited)	
資本金	1,268 億ルピー (スズキ株式会社 100% 出資)	
本社・工場所在地	グジャラート州 アーメダバード	
2020 年生産実績	346,000 台	
工場概要	生産車種 / 品目	生産能力 (年間)
A 工場	バレーノ	25 万台
B 工場	スイフト	25 万台
C 工場	ディザイア	25 万台
		計 75 万台
パワートレイン工場	1.2L ガソリンエンジン	50 万台
	5MT、AGS	50 万台